

放課後等デイサービス 子どもクラブ  
 令和5年度 事業者向け 放課後等デイサービス自己評価表  
 令和6年2月 実施 令和6年3月 公表

		チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	改善目標、工夫している点など
環境・ 体制設備	1	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切であるか	◎			法令に従ったスペースは確保しており、また畳を除いたり棚といった備品の整理を行い、より活動スペースを広くした。狭いとの声があり、出来るだけの対応は行ったが、そもその広さの問題もある為、今後大きな滞りがあった場合は引越も含め検討する(継続事項)
	2	職員の配置数は適切であるか	◎			人員配置基準を満たした上で、児童の人数や支援の必要さを考慮し、必要に応じ多くスタッフを配置する等行っている。(有資格者を配置し加配加算が取れる体制にしている)
	3	事業所の設備等について、バリアフリー化の配慮が適切になされているか			◎	活動スペースでは段差は無くしたり対応は行っているが、建物の構造上完全なバリアフリーに出来ない箇所もある。出来るだけ今後も工夫を行っていきたい。
業務改善	4	業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか	◎			スタッフミーティングを月に1回以上は開催しているが、他の業務の兼ね合い等で参加が出来ない職員・スタッフもいる為、毎回の朝礼で常に新しい情報や申し送りをを行い出来るだけスタッフが共有・支援を考える機会を設けている。
	5	保護者等向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげているか	◎			アンケート調査は勿論、日頃から保護者から意見・相談などを受け、対応できることは行っている。対応しきれない箇所もあるが、引き続き今後も出来る限りの対応は行っていきたい。(継続事項)
	6	この自己評価の結果を、事業所の会報やホームページ等で公開しているか	◎			結果を毎年3月末にホームページにて公表し、保護者にホームページのURLをお知らせを通じて伝えている。
	7	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか			◎	現在第三者評価は受けていない。必要に応じ検討する(継続事項)
	8	職員の資質の向上を行う為に、研修の機会を確保しているか	◎			随時研修に関しては、資格の外部研修や講座を受講している。保育士試験に取り組むスタッフもあり、法人としてバックアップ出来たらと考えている。日頃の支援においても全体ミーティングだけでなく回数を増やしていけたらと考えている。
適切な支援の	9	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか	◎			保護者との面談だけでなく日々の連絡帳や送迎時の申し送り、メール等で情報共有ややり取りを行い、随時支援に繋げる様になっている。各児童、より適した支援が行える様客観的に分析して反映していきたい。(継続事項)
	10	子どもの適応行動の状況を図るために、標準化されたアセスメントツールを使用しているか	◎			アセスメントシートは標準化されたものを使用し活用している。それだけでなく各児童で特記事項があれば把握・反映する様にしている(継続事項)
	11	活動プログラムの立案をチームで行っているか	◎			出来る限り職員・スタッフの意見を取りまとめ内容を考えている様にしている。ミーティングだけでなく日々の朝礼やそれ以外での会話などで可能な範囲で反映する様にしている。
	12	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか	◎			ストレッチカリキュラムを月に2回取り入れたり、土曜日では工作活動や季節に応じたイベントを考え多彩に取り組めるようにしている。日々の活動でも室内遊び・外遊びを選択出来たり、子ども達の希望に対応したりと幅を持たせて対応を行っている。
	13	平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ細やかに設定して支援しているか	◎			利用者の様子や状況によって出来る事、出来ない事が出てしまうが、どの場合でも出来る限り内容を豊富にして楽しんで過ごしてもらえるように努めている。課題に対しても状況に応じた設定を行っている様に意識している(継続事項)
	14	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成しているか	◎			各児童の様子や特性を考慮して対応を行い、計画に繋げている(継続事項)

提供	15	支援開始前には職員間で必ず打ち合わせをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認しているか	◎			支援前に朝礼を行い確認を行っているが、時折充分に朝礼を行えない時もあり、その時はteamsを用いて情報を共有したり、回数を分けて朝礼や申し送りをしして対応を行っている。(継続事項)
	16	支援終了後には、職員間で必ず打ち合わせをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気づいた点等を共有しているか		◎		他の業務の兼ね合いで、次の業務に行かなければならない事がある為、支援終了後はすぐに振り返りが行えない事がある。その際はtermsを用いたり連絡する等工夫を行っている。
	17	日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか	◎			サービス提供記録とは別に、一日の児童の様子を記入するノートや個別での特記事項があった際の様式やtermsを用いており、より細かくすぐに支援に反映できる様に工夫している。
	18	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断しているか	◎			半年に一度の個別支援計画書を作成している。また、日々の連絡帳や送迎時の申し送り等を通じて適宜支援への改善を図っている(継続事項)
	19	ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせる支援を行っているか	◎			ガイドラインに関しては随時整理を行っているところであるが、より様々なガイドラインを策定していきたい(継続事項)
関係機関や保護者との連携	20	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子供の状況に精通した最もふさわしい者が参画しているか	◎			その場合は管理者・児童発達支援管理責任者が参加する様にしている。(継続事項)
	21	学校との情報共有(年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等)、連絡調整(送迎時の対応、トラブル発生時の連絡)を適切に行っているか	◎			学校と家庭と連携を行い、多角的に対応する様に努めている(継続事項)
	22	医療的ケアが必要な子供を受け入れる場合は、子どもの主治医等と連絡体制を整えているか			◎	現在医療ケアを必要としている児童は受け入れを行っていない(体制面により) 既存利用者に関しては、主治医の把握、てんかん発作や疾病がある場合は把握し対応を行っている
	23	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか	◎			児童発達支援事業所や相談支援事業所からは受け入れの紹介はあり、以前からの繋がりが継続して関係を持っている。対応できるところは対応を行い、今後も関わりの機会を持っていきたい
	24	学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか	◎			他の制度に関しては、当法人で対応できる事業もあり随時利用者に紹介を行っている。卒業前だけでなく就学中でも他の制度を利用しているケースも多いため、今後も紹介を行ってきたい
	25	児童発達支援センターや発達障害支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けているか			◎	昨年度同様、連携に関しては充分に取れていなかった箇所なので、状況を見て機会を設けられる様にしたい(継続事項)
	26	放課後児童クラブや児童館との交流や、障害のない子供と活動する機会があるか			◎	昨年同様、交流する機会に関しては殆ど持つ事は出来なかった。子どもクラブ自体の活動を見て交流出来る機会・タイミングはあるかを検討し、可能であれば機会を設けていきたい
	27	(地域自立支援)協議会等へ積極的に参加しているか			◎	参加に関しては出来ていない。今後機会があれば参加出来る様に検討を行っていく
	28	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか	◎			日々の連絡帳や、送迎時などの申し送り、電話・メール等のやり取りを通じて出来るだけ保護者とコミュニケーションを密に行う様意識し、共通理解を持てる様に努めている(継続事項)
	29	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対してペアレント・トレーニング等の支援を行っているか			◎	随時保護者からの相談は受け付けているが、専門的には行っていない箇所が多くあると思われるので、より適切な支援が行える様、体制など整えていく事を今後検討していく(継続事項)

保護者への説明責任等	30	運営規定、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか	◎			契約時には説明を行っており、変更があった場合は随時説明を行っている(継続事項)
	31	保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っているか	◎			相談があった時は出来るだけ誠意をもって対応を行う様意識している。今後も継続していく(継続事項)
	32	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援しているか			◎	現在父母の会は開催していない。多くの要望があった場合は開催の検討を行う(継続事項)
	33	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか	◎			責任者を設けており、誠意を持って対応する様に努めている。今後も引き続き取り組みたいと思う(継続事項)
	34	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか	◎			会報は発行していないが、希望表やコーディネート表、イベント紹介の便りを図時発行し配布している。また、必要に応じ随時連絡事項・情報共有などをお知らせという形で伝えている。会報に関しては多くの要望があれば検討を行う
	35	個人情報に十分注意しているか	◎			鍵付き書庫や事務室に鍵を付ける、防犯カメラの設置など対応を行っている。今後も注意して取り組みたい(継続事項)
	36	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか	◎			各児童の特性を配慮して支援を行っており、保護者に関しても状況を鑑みて配慮等を行っている。柔軟的に対応する様に意識している(継続事項)
37	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っているか	◎			地域の催しに参加したり、実際に出店を出し地域住民を触れ合う事も活動としてコロナ禍が明け、取り組めるようになってきた。今後も継続していきたい。	
非常時等の対応	38	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知しているか	◎			マニュアルに関しては随時策定を行っているが、不足している面や周知が足りない面はある。随時改善を行っていく(継続事項)
	39	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか			◎	今年度は地域の防災訓練に参加し、AEDや消火活動体験に触れられる事が出来た。実践的な訓練は不十分な面がある為、今後は取り入れていく。
	40	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか	◎			研修に関しては今後行っていきたいと考えている。朝礼時や会議時などでは意識してもらうように働きかけしており、こちらは引き続き取り組んでいく
	41	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか			◎	基本的に身体拘束は行っていないが、今後必要の場合、手順を踏んで整備し取り組んでいく
	42	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか	◎			医師の指示所や保護者からの聞き取りを通じてリストを作成し、注意して対応している。命に係わる事項なので、スタッフにはしっかり周知させ、今後も徹底をしている(継続事項)
	43	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有しているか	◎			実際に起きた場合は書類を作成したり、朝礼時やミーティングで共有を行っているが、どんな小さな事項でも記入して全員に共有できるという意識を組織全体に落とし込めたいと考えている。